

2022年6月30日

大阪地方最低賃金審議会 会長殿

関西地区私立大学教職員組合連合

執行委員長 松下 尚史

大阪府中央区谷町7-1-39-102

大阪府の最低賃金を大幅に引き上げ 時間額 1500 円の早期実現を求める意見書

私たちは大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県にある私立大学と短期大学の教職員でつくる労働組合の連合体です。大阪府の最低賃金を決めるにあたり、私たちの立場から意見書を提出いたします。

府下にある私立大学には 19 万 4808 人の学生が学んでいます（「令和 2 年度 大阪の学校統計」より）。私立大学に通う多くの学生は、高学費と生活費負担を少しでも軽減するため、アルバイトをしなければなりません。日本学生支援機構の調査によるとアルバイトに従事している学生は 80.4%で、うち修学のためにアルバイトをしなければならないのは 36.9%となっています。授業期間中に週 3 日以上アルバイトをする学生は 47.4%で、週平均 11 時間から 20 時間のアルバイトをする学生は 34.6%となっています。

高等教育の修学支援制度など学生支援の制度が充実してきました。しかし住民税非課税世帯を対象とするなど要件が厳しく、授業料減免を受けた学生の比率は 14.9%に留まっています。

全国大学生生活協同組合連合会の調査によると、学生が「日常生活で気にかかっていること」では、勉学上の事、就職のことに続いて、生活費やお金のことが気になる学生が 40%にも上っています。

学生がアルバイトをせざる得ないことで、学習時間が削られる、睡眠時間が削られるなど学業にも影響が出ています。健康にも影響が出ており、うつや睡眠障害になった学生もいます。また、コロナで親の収入が減って仕送り額も減り、生活費を稼ぐためにアルバイトを多くしなければならず、やむなく休学した学生もいるほどです（学生団体「FREE 京都」の調査より）。

大阪府の最低賃金が大幅に引き上げられ時間額が 1500 円となれば、昨年比で 1.5 倍以上の引き上げです。学生はアルバイトの勤務時間や日数を軽減し、学業に力を向けることにもつながります。それは社会にとっても有益な事であると考えます。

ぜひ大阪府の最低賃金を大幅に引き上げて時間額 1500 円を早期実現してください。

以上